

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-137	小学校	道 徳	道 徳	6 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 606 道徳 607	小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6	道徳ノート	

## 1. 編修の基本方針

— 道徳科の時間を通して、子どもたちに「よりよく生きる力」を育みたい —

みずから心をひらき、考え、そして行動する

子どもたちの真の生きる力を育みたい

そのことが、ともによりよく生きていく喜びにつながるように……

私たちはこの教科書が、そのたすけとなることを心から願って編修しました。

本教科書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を実現するため、次のような基本方針で編修しました。

基本方針

1

**みずから考えたくなる！**

児童の主体的な学びをサポートします



基本方針

2

**授業に躍動感を！**

豊かな対話と学び合いのある道徳科の時間にします

基本方針

3

**社会に根ざした道徳教育を！**

いま・これからの社会的課題にしっかり対応し、深い学びを提供します

1 読み取りやすく興味を引く教材・紙面

(1) 感動・共感を呼ぶ教材の選定

物語からドキュメンタリーまで多様な教材をそろえています。感動とともに児童の経験を踏まえた思考を引き出すようにしました。

(2) 見やすく、親しみやすい大きな紙面

大きな判型（A B判）を採用し、大きなイラストや写真で、児童の興味・関心を惹きつけるようにしました。

(3) 学習をガイドするキャラクター

親しみやすいキャラクターが活躍して、児童にとって内容を身近に捉えやすくなるよう工夫しました。



(p.136 ~ 137)

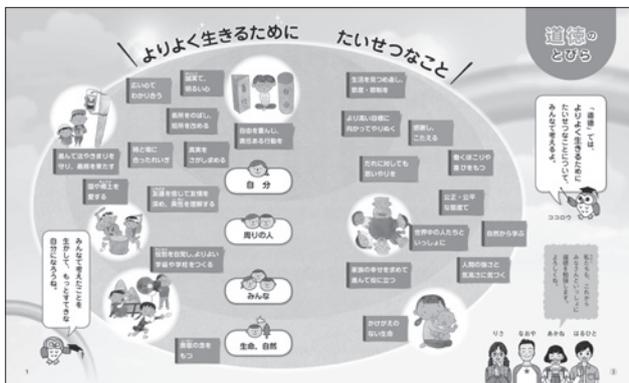


(p.142 ~ 143)

2 学びに見通しの持てる構成 —学習の意義や全体を見通した例示—

(1) ていねいでわかりやすいオリエンテーションページ

巻頭にオリエンテーションのページを設け、道徳科の意義や学び方などを、児童の発達の段階に応じて分かりやすく示しました。



(p. ③ ~ 1)

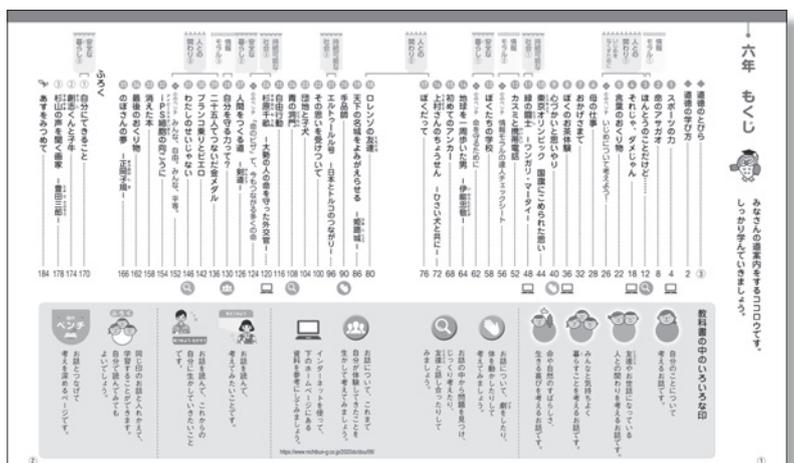


(p.2 ~ 3)

(2) 教材配列と見やすいもくじ

重要なテーマである「いじめの防止」について複数の教材を1つのまとまり（ユニット）とすることで、学級の状況に応じて、学習を集中的に展開できるようにしました。

また、もくじでは、「安全」「情報モラル」などのテーマについても教材名の上の欄にそれぞれ提示し、1年間の学習の全体像、系統性が一目でわかるよう工夫しました。



(p. ① ~ ②)

**1 考えを引き出し、議論を活発にするために** —豊かな思考や議論を促す紙面要素—

児童が取り組みやすく、また教師が指導・評価しやすくなるように、紙面要素を適切に配置しました。児童が教材内容を素早く理解できるので、授業の中に思考や議論のための時間を作りやすくなります。

**5 考えてみよう**

教材のねらいに迫る発問例を児童が自発的に問いかける形で示しました。

**6 見つめよう 生かそう**

学習を通して考えたこと、わかったことを確かめたり、深く心に刻んだり、未来への思いや課題について考えたりするための発問例を示しました。



(p.76 ~ 79)

**1 主題名**  
ねらいに対応した「主題」を端的に表しました。

**2 導入の発問例**  
本時の導入に役立つ発問例を示しました。

**3 あらすじ**  
児童の教材に対する理解を助けるために設定しました。

**4 主な登場人物**  
教材に登場する主な登場人物を示して、児童が親しみを持てるようにしました。

**2 学習の手引き** —主体的、対話的で深い学び—

「問題解決的な学習」や「体験的な学習」の手法を用いるのに適した教材、および「多様な実践活動を生かす学習」に対応した教材の後ろには、児童の学びと教師の指導の参考例として「学習の手引き」を付けています。これにより、主体的、対話的で深い学びが展開できると共に、特別活動等における多様な実践活動を生かした充実した学習ができるように工夫しました。

問題解決的な学習	ほんとうのことだけど 青の洞門 わたしのせいじゃない	p.12~17 p.108~115 p.146~151
体験的な学習	心づかいと思いやり 手品師	p.40~43 p.90~95
多様な実践活動を 生かす学習	自分を守るかって？	p.130~135



(p.16 ~ 17)

**3 学習や指導を充実させるために** —多面的、多角的な見方・考え方で、広げ、深め、心に刻む—

(1) コラム (心のベンチ)

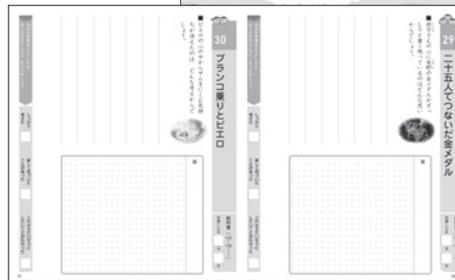
コラム「心のベンチ」を適宜配置し、道徳的価値について、多面的、多角的な見方、考え方によってより広く深く、考えられるようにしました。道徳科以外の教育活動とも関連付けています。

(2) 道徳ノート (別冊)

別冊の「道徳ノート」を付けました。道徳科の時間における児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握でき、指導や評価の参考にもなります。また、児童自らの成長の記録となり、保護者との連携も図れるようにしました。

新たに自由に書き込める欄も設けたので、児童が活用しやすくなりました。地域題材や学級状況に応じた指導にも対応できます。

(p.152 ~ 153)



(ノート p.30 ~ 31)

## 1 現代的・社会的課題への対応

下記の現代的・社会的な課題を重視して編修しました。

〔 〕はユニット

重点化した課題への対応

重点課題	道徳科の内容項目例	教材例
いじめの防止	善悪の判断, 自律, 自由と責任 個性の伸長 相互理解, 寛容 友情, 信頼 公正, 公平, 社会正義 よりよい学校生活, 集団生活の充実	・ほんとうのことだけど…… ・それじゃ, ダメじゃん ・言葉のおくり物 ・ぼくだって ・ロレンゾの友達 ・二十五人でつないだ金メダル ・ブランコ乗りとピエロ ・わたしのせいじゃない
安全の確保 (防災, 防犯, 交通)	節度, 節制 勤労, 公共の精神 よりよい学校生活, 集団生活の充実	・ぼくたちの学校 ・自分を守るかって? ・自分にできること
情報モラル	善悪の判断, 自律, 自由と責任 節度, 節制	・ほんとうのことだけど…… ・カスミと携帯電話
社会の持続可能な 発展	自然愛護 公正, 公平, 社会正義	・緑の闘士 ーワンガリ・マータイー ・杉原千畝 ー大勢の人の命を守った外交官ー

その他の現代的・社会的な課題への対応

①「人権・福祉」について考える教材	・杉原千畝 ー大勢の人の命を守った外交官ー	・エルトゥールル号 ー日本とトルコのつながりー
②「食育・健康」について考える教材	・おかげさまで	
③「法教育」について考える教材	・団地と子犬	・消えた本
④「キャリア教育」について考える教材	・上村さんのちょうせん ーひさい犬と共にー ・母の仕事	・iPS細胞の向こうに ・創志くんと子牛

## 2 特別支援教育への配慮 ーすべての児童が等しく学べるように配慮

すべての児童が等しく学べるように、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点から次のように配慮しました。

- 1) 文字の大きさと書体、罫線や囲みの使い方、色使いなど、レイアウトを工夫し、判読しやすくしました。
- 2) 当該学年以上の漢字には、教材ごとにすべて振り仮名をつけました。

## 3 保護者への配慮 ー家庭、地域との連携

「道徳科」がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にメッセージ性をもって伝えるとともに、道徳ノートの活用により、学校・家庭・地域の連携を図る手立てを提供しています。

## 4 系統性への配慮 ー保・幼、小、中の連携

発達の段階を考慮し、保・幼、小連携（低学年）や、小、中連携（高学年）についても、教材の選定や表現方法、レイアウトにおいて工夫を加えました。

## 2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標と図書の構成・内容との対照について、各教材とその該当箇所を表示しました。

基本法第2条 (教育の目標)	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	オリエンテーション	豊かな情操や道徳性を養うため、道徳科の授業がより有意義に魅力的になるよう意義と学び方を紹介しました。	p.③～3
	正直、誠実 20 手品師	相手に対して、さらに、自分に対しても正直であり、誠実であろうとする態度を養おうとしました。	p.90～95
	節度、節制 12 カスミと携帯電話 ほか 28	自分のしたいことに夢中になることを戒め、節度ある健康的な生活をしようとする態度を養おうとしました。	p.52～55 ほか
	希望と勇気、努力と強い意志 32 iPS 細胞の向こうに ほか 16	先人や著名人の高い理想を追い求める生き方を通して、自らもそのように努力しようとする態度を養おうとしました。	p.154～157 ほか
	真理の探究 14 地球を一周歩いた男 -伊能忠敬-	自分が解明したいことに根気強く取り組み、あきらめずに物事を探究しようとする意欲と態度を養おうとしました。	p.64～67
	感動、畏敬の念 24 青の洞門 ほか ③	美しい心について考えを深め、お互いを大切にしようとする豊かな情操を育てようとしてしました。	p.108～115 ほか
第2号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	善悪の判断、自律、自由と責任 3 ほんとうのことだけど…… ほか 25	やって良いこととよくないことについて様々な視点から考えられるようにすることにより、善悪の判断力を育てようとしてしました。	p.12～17 ほか
	個性の伸長 4 それじゃ、ダメじゃん	春風亭昇太さんの生き方を通して、自分のよさに気づき、そのよさを生かして人生を切り拓こうとする心を育てようとしてしました。	p.18～21
	相互理解、寛容 30 ブランコ乗りとピエロ ほか 17	ピエロの心の変化を通して、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする態度を養おうとしました。	p.142～145 ほか
	勤労、公共の精神 6 母の仕事 ほか ①	母の仕事に取り組む姿勢を知ることを通して、高齢者や社会のために働こうとする心情を育てようとしてしました。	p.28～31 ほか
	家族愛、家庭生活の充実 15 初めてのアンカー	家族生活を成り立たせるための基盤となる相互の深い信頼に気づき、積極的に家族と関わろうとする意欲を高めようとしてしました。	p.68～71
	よりよく生きる喜び 1 スポーツの力 ほか 35	自分の弱さに負けることなく、目標をもってよりよく生きようとする意欲を高めようとしてしました。	p.4～7 ほか
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	親切、思いやり 34 最後のおくり物 ほか 9	自分自身が相手に対してどのように接することが相手のためになるかを考え、親切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.162～165 ほか
	感謝 7 おかげさまで	自分の生活が多くの人々の支えられて成り立っていることに気づき、それに応えようとする心情を育てようとしてしました。	p.32～35
	礼儀 27 人間をつくる道 -剣道-	あいさつには相手を思いやる気持ちがあることを知り、進んで心のこもったあいさつをしようとする態度を養おうとしました。	p.126～129
	友情、信頼 5 言葉のおくり物 ほか 18	異性を正しく理解し、互いに協力して生活を送ろうとする意欲を高めようとしてしました。	p.22～25 ほか
	規則の尊重 33 消えた本 ほか 23	社会生活を送る上での義務と権利について考え、ルールを守ろうとする態度を養おうとしました。	p.158～161 ほか
	公正、公平、社会正義 31 わたしのせいじゃない ほか 26	いじめに対する責任逃れについての心情を考えることから、社会正義を貫こうとする態度を養おうとしました。	p.146～151 ほか
	よりよい学校生活、集団生活の充実 29 二十五人でつないだ金メダル ほか 13	自分が脚光を浴びなくとも自らの役割を理解してそれを果たし、集団に寄与しようとする態度を養おうとしました。	p.136～141 ほか
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	生命の尊さ 22 その思いを受けついで ほか 2 ②	命の連続性を意識しながらも、かけがえのないものであることを理解し、精一杯生きようとする態度を養おうとしました。	p.100～103 ほか
	自然愛護 11 緑の闘士 -ワンガリ・マータイ-	ワンガリ・マータイさんの生き方を通して、自然環境の保全に対する意識を高め守り育てようとする態度を養おうとしました。	p.48～51
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 19 天下の名城をよみがえらせる -姫路城- ほか 8	地元の人々の姫路城への思いを通して、郷土のほこりや伝統文化を受け継ぎ発展させようとする心情を育てようとしてしました。	p.86～89 ほか
	国際理解、国際親善 21 エルトゥールル号 -日本とトルコのつながり- ほか 10	トルコと日本の歴史的な絆や友好関係を通して、世界の人と共によりよい関係を築き親善に努めていこうとする態度を養おうとしました。	p.96～99 ほか

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-137	小学校	道 徳	道 徳	6 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 606 道徳 607	小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6	道徳ノート	

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 「よりよく生きる力」を育むために

一人ひとりの児童たちと、そこに寄り添う教師とが作り上げていく教科「特別の教科 道徳」。その実践を通して「よりよく生きる力」を育むことをサポートする教科書として、「学習指導要領」の主旨を踏まえ、特に次の点に意を用いて編修しました。

#### 特色 1

#### 授業の流れが見える

— 質の高い授業を保証する工夫として —

#### 1 発問例によって授業の流れが見える

— 質の高い授業を保証する工夫として —

教材に応じて、授業の進行に沿った3つの発問の例を全教材に示しています。これらの発問例によって、教師にも児童にも授業の流れが見え、見通しをもって豊かな学習活動をおこなうことができます。

**■ 考えてみよう**  
教材のねらいに迫るヒントとなる発問例です。

**■ 導入の発問例**  
教材に入り込むきっかけとなる発問例です。

**■ 見つけよう** 生かそう  
学習を通して学んだこと、わかったことを自発的に確かめ、活かしていくための発問例です。

(p.96 ~ 99)

#### 2 「学習の手引き」によって授業の流れが見える

指導方法を工夫することで、主体的・対話的な学習による「深い学び」が実現すると考えられる教材には、「学習の手引き」のページを用意しています。

このページを参考にさせていただくことで、質の高い、多様な学習方法の具体例がわかり、問題解決的な学習、体験的な学習、さらに特別活動等を生かした学習に児童が主体的に取り組むことができるとともに、対話を通じた多様な見方、考え方にふれるなどして、深い学びを実現することができます。

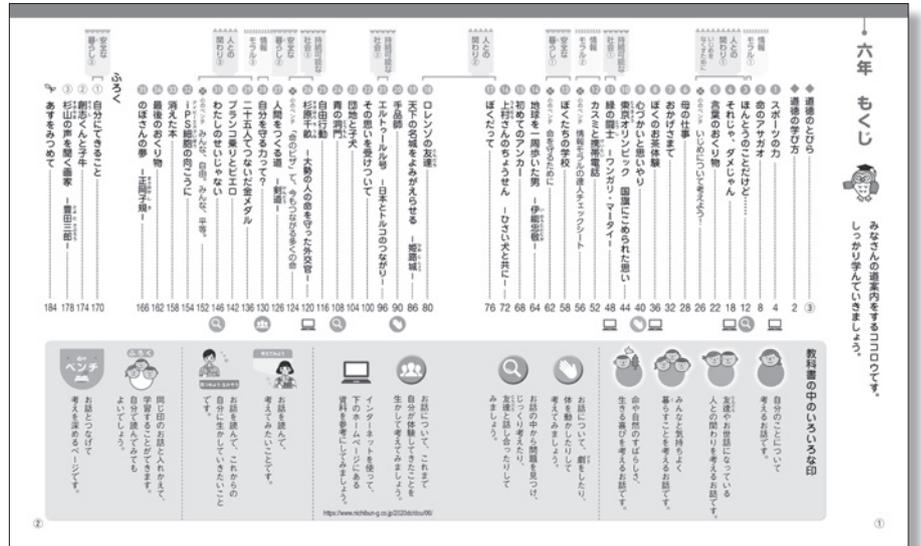


(p.42 ~ 43)

**1 関連教材やコラムとのユニット構成 —毎学期に配置—**

「いじめの防止」は、重要なテーマとして、複数教材や関連するコラムをユニットとしてまとめて配列しています。また、毎学期にユニットを1つずつ配置して、重点的に扱えるようにしています。

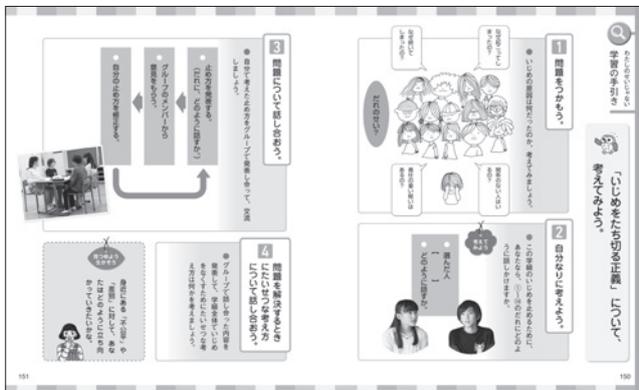
ユニットには、いじめを直接的に扱った教材だけでなく、自己有用感や他者理解など、「いじめ」の克服につながる教材を組み合わせ、知的理解を補強するコラムとも関連させつつ、集中的に取り組めるようにしています。くり返し考え、対話を深めることで、児童自身にいじめを「しない」「させない」「見過ごさない」力をつけさせようしました。



(p. ①～②)

**2 多様な学習活動を通して —多様な学び方を通してより確かな理解を—**

「学習の手引き」で、問題解決的な学習の手法（下図左）や、役割演技を用いた体験的な学習の手法（下図右）、多様な実践活動を生かした学習の方法を提案しています。このような学習活動の工夫から、「いじめの防止」の、より確かで深い理解につながることをめざしています。



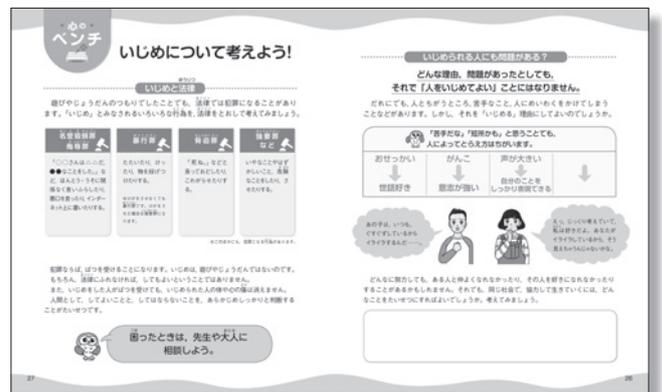
(p.150～151)



(p.94～95)

**3 コラムを用いて —多面的・多角的に考える—**

教材に関連させて配置したコラム「心のベンチ」を手がかりにして、児童は「いじめの防止」について多面的・多角的に考えることができます。



(p.26～27)

**1 「道徳ノート」のねらいと効果** —各学年に1冊、各教材に1ページ—

「よりよく生きる力」を育むために、児童が「自分の成長」を実感できることを意図して、「道徳ノート」を付けました。このノートの活用によって、児童自身が自らを振り返り、自身の変容や成長を確認することができます。

また、1教材1ページで、指導の実践に即した構成とし、自由に書き込める欄を設けるなど、使いやすさに意を用いました。

「道徳ノート」を活用することで、次のような効果が期待できます。

◆児童にとって

- ◇自分自身の成長の様子を記録し、振り返ることができます。
- ◇児童が表現する場を保証することで、言語活動の充実が図れます。
- ◇自由書き込み欄

- 児童の思いを各々の表現方法や分量で書き表せます。
- 友達の意見を書き込むことにより、多面的・多角的な見方や考え方を育成することができます。
- 記録だけでなく、メモとして議論に備えることができます。

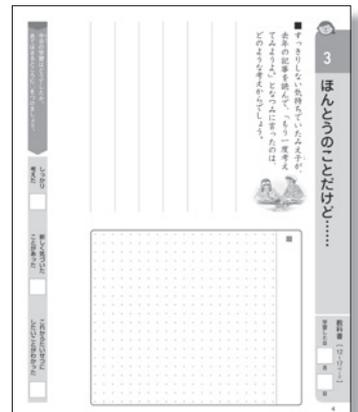
◇教科書に即した共通のノートを使うことで、「考え、議論する」土台を学級で共有できます。

◆教師にとって

- ◇児童の道徳性の成長の様子が把握できます。
- ◇1年間を通して学習状況を継続的に把握できます。→中長期的な大くくりの「評価」にも活用することができます。

◆保護者にとって

- ◇保護者記入欄の活用により、児童の成長へ関わることができます。
- ◇家庭と学校間の連携を円滑にします。



(ノート p.4)



(ノート p.40)

**1 各教科等との関連への配慮**

他教科や特別活動等との関連を巻末一覧表に明示しました。これにより、カリキュラムマネジメントの充実化に活用することができます。

教科	単元	学習内容	関連する教科・活動
国語	読書	読書感想文の書き方	国語、読書
算数	割合	割合の計算	算数
社会	社会	社会の発展	社会、総合
道徳	道徳	道徳の学び	道徳、特別活動
総合	総合	総合的な学習の時間	総合、特別活動

(p. ④～⑤)

**2 デジタルコンテンツ**

—より効果的な授業をするための配慮—

○のアイコンが配置された教材には、授業の導入や展開で活用できる動画資料や、関連画像などを、ホームページ上にデジタル教材として準備しました。必要に応じて活用することで、児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができます。



(p.18)

〔本教科書の特徴表〕

基本事項	準 拠 性	教育基本法の遵守	・教育基本法第2条の教育の目標を達成するため、特に次の3点を柱に編修しています。①み ずから考えたい！、②授業に躍動感を！、③社会に根ざした道徳教育を！	
		学習指導要領の遵守	・学習指導要領に示された道徳科の目標の実現をめざし、扱うべき内容項目はすべて扱い、重 点事項や配慮事項を重視しています。	
		公 正 性	・教材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容 されているかを十分吟味・検証しています。	
		正 確 性	・検定基準などに照らして的確な内容であることを検証しています。	
内容・系統		発達の段階への配慮	・児童の発達の段階を考慮した内容とし、1年間や6年間を通した系統性に配慮しました。ま た、「保・幼、小、中」の連携にも配慮しました。	
		配 列 ・ 分 量	・オリエンテーション、本編教材、付録で構成し、適宜関連コラムを配置しています。 ・各学年の配当時間を実施する上で十分な教材数を配置しています。 ・他教科の学習や様々な活動との関係を考慮して配列しました。 ・学習計画や見通しが立てやすいよう一覧性のある目次としました。	
		学 習 意 欲 ・ 主 体 的 な 学 習 態 度 の 育 成	・オリエンテーションのページに道徳学習の意義や授業の流れをわかりやすく示しているの で、学習意欲と主体的な学習態度の育成につながります。 ・児童に感動と共感を与え、興味・関心を高めるような多様な教材を用いました。 ・親しみやすいキャラクターの言葉が児童の学ぶ意識を高めます。	
		多 様 な 学 習 の 実 現 ( ア ク ティ ブ ラー ニ ン グ)	・オリエンテーションのページや自我関与を中心とした教材のほか、問題解決的な学習、体験 的な学習、多様な実践活動を生かした学習の教材を配置しました。 ・児童が多様な学習に対応できるよう、「学習の手引き」を問題解決的な学習、体験的な学習、 多様な実践活動を生かした学習のページに例示しました。	
	重 点 課 題		現 代 的 ・ 社 会 的 課 題 へ の 対 応	・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、「いじめの防止」「安全の確保(防災・防犯・交通安全)」「 情報モラル」「社会の持続的発展」などの現代的・社会的課題への対応を重視した教材を用 意しました。 ・特に「いじめの防止」に関しては、全学年で重要項目として扱い、各学年毎学期に関連教材 をユニット化して配置しました。
			伝 統 文 化 の 尊 重 と 国 際 理 解	・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに他国の文化にも興味・ 関心を持たせ、国際理解・親善に関心を促す教材を用意しました。
			社 会 の 持 続 可 能 な 発 展	・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、発達 の段階に即して道徳的な観点から取り扱いました。
	そ の 他 の 現 代 的 社 会 的 な 課 題	・食育、健康、法教育、キャリア教育などの社会的課題についても取り扱っています。		
そ の 他		家 庭 学 習 へ の 配 慮	・「道徳ノート」(別冊)は家庭学習との連携も図れるようにしました。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして伝え、学校、家庭、地域の連 携を示唆しました。	
		地 域 教 材 の 活 用 ・ 開 発	・児童にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮 しました。	
		他 教 科 ・ 活 動 と の 関 連	・道徳教育の要としての特質に鑑み、各教材に、道徳的内容で関連する他教科・活動を巻末に 明示し、各教科等と関連付けた効果的な指導ができるようにしました。 ・これにより、カリキュラムマネジメントの充実化に役立つようにしました。	
		特 別 支 援 教 育 へ の 配 慮	・すべての児童が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用 し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書を制作します。	
		デ ジ タル 教 材 の 活 用	・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しました。	
		判 型	・A B判を採用し、写真やイラストを大きくして児童の興味・関心を引きやすくしました。	
		文 字 、 印 刷 、 製 本	・当該学年以上の配当漢字にはすべて振り仮名をつけました。 ・書体は、児童に読みやすいように開発した教科書体を使用しました。 ・本文用紙は軽量化した再生紙とし、表紙はコート紙で美感を考慮する予定です。 ・植物油を用いて印刷し、堅牢なあじろ綴じ製本で開きやすくしました。	

## 2. 対照表

### 第6学年

図書の構成				学習指導要領の内容項目とキーワード		配当 時数	配当学期	
番号	ページ	教材名	主題名					
1	4～7	スポーツの力	ほこりある生き方	D	よりよく生きる喜び	1	一学期 12時間	
2	8～11	命のアサガオ	せいっぱい生きる	D	生命の尊さ	1		
3	12～17	ほんとうのことだけど……	自由と責任	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	1		
4	18～21	それじゃ, ダメじゃん	長所と短所	A	個性の伸長	1		
5	22～25	言葉のおくり物	男女ともしんらいして	B	友情, 信頼	1		
6	28～31	母の仕事	働くことの意義	C	勤労, 公共の精神	1		
7	32～35	おかげさまで	感謝の心	B	感謝	1		
8	36～39	ぼくのお茶体験	伝統の心づかい	C	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1		
9	40～43	心づかいと思いやり	思いやりの心	B	親切, 思いやり	1		
10	44～47	東京オリンピック 国旗にこめられた思い	その国のほこりと伝統	C	国際理解, 国際親善	1		
11	48～51	緑の闘士 ワンガリ・マータイ	持続可能な社会	D	自然愛護	1		
12	52～55	カスミと携帯電話	たいせつな生活リズム	A	節度, 節制	1		
13	58～61	ぼくたちの学校	学校を愛する心	C	よりよい学校生活, 集団生活の充実	1		
14	64～67	地球を一周歩いた男 一伊能忠敬一	真理を求める心	A	真理の探究	1		
15	68～71	初めてのアンカー	家族の幸せ	C	家族愛, 家庭生活の充実	1		
16	72～75	上村さんのちょうせん 一ひさい犬と共に一	あきらめない心	A	希望と勇気, 努力と強い意志	1		
17	76～79	ぼくだって	相手を理解する心	B	相互理解, 寛容	1		
18	80～85	ロレンゾの友達	ほんとうの友達	B	友情, 信頼	1		
19	86～89	天下の名城をよみがえらせる 一姫路城一	ほこりある郷土	C	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1		
20	90～95	手品師	誠実に生きる	A	正直, 誠実	1		
21	96～99	エルトゥールル号 一日本とトルコのつながり一	他国との心のつながり	C	国際理解, 国際親善	1		
22	100～103	その思いを受けついで	生命のつながり	D	生命の尊さ	1		
23	104～107	団地と子犬	よりよいきまり	C	規則の尊重	1		
24	108～115	青の洞門	美しい心	D	感動, 畏敬の念	1		
25	116～119	自由行動	自由の難しさ	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	1		
26	120～123	杉原千畝 一大勢の人の命を守った外交官一	社会正義の実現	C	公正, 公平, 社会正義	1		
27	126～129	人間をつくる道 一剣道一	れいぎ正しさ	B	礼儀	1		
28	130～135	自分を守る力って?	自分を守る力	A	節度, 節制	1		
29	136～141	二十五人でつないだ金メダル	集団での役割	C	よりよい学校生活, 集団生活の充実	1		
30	142～145	ブランコ乗りとピエロ	広く受け入れる心	B	相互理解, 寛容	1		
31	146～151	わたしのせいじゃない	いじめをたち切る正義	C	公正, 公平, 社会正義	1		
32	154～157	iPS細胞の向こうに	終わりにききょうせん	A	希望と勇気, 努力と強い意志	1		
33	158～161	消えた本	たいせつな義務	C	規則の尊重	1		
34	162～165	最後のおくり物	深い思いやり	B	親切, 思いやり	1		
35	166～169	のぼさんの夢 一正岡子規一	夢をいだき生きる喜び	D	よりよく生きる喜び	1		
①	170～173	自分にできること	公共のために働くこと	C	勤労, 公共の精神	-	-	-
②	174～177	創志くんと子牛	つながる生命	D	生命の尊さ	-	-	-
③	178～183	杉山の声を聞く画家 一豊田三郎一	大自然への畏敬	D	感動, 畏敬の念	-	-	-
計						35		
ふろく						3		

#### [備考]

- ・表の「学習指導要領の内容項目とキーワード」は学習指導要領第3章第2の内容についてを表す。Aは「主として自分自身に関する事」、Bは「主として人との関わりに関する事」、Cは「主として集団や社会との関わりに関する事」、Dは「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関する事」を示す。
- ・番号①②③は補充教材としての「ふろく」を表しており, 本文教材との代替性, 補充性を目的に使用するため, 配当時数には含めていない。